

子ども新聞

週刊

風っ子

8月24日(日) 第729号

発行所/上毛新聞社

〒371-8666 前橋市古市町 1-50-21

☎ 027-254-9917 FAX 027-251-4334

Eメール kazeppo@raijin.com

ネットで
読めるよ

知ってる商品 いろいろ製造

スーパーやコンビニにずらっと並ぶお茶やスポーツドリンクなどの飲み物。たくさん種類がありますが、どうやって作られているのでしょうか。高崎市にある飲料メーカー「ハルナグループ」では年間100種類以上の新しい飲み物を開発、製造しています。地元の子どもたちが同社を見学し、飲み物がみんなの元に届くまでの裏側を教えてもらいました。

2面まで特集

飲料メーカー「ハルナグループ」高崎

地元の子どもたちが見学

ハルナグループで作られた飲み物がずらっと並ぶ展示を見る子どもたち



フルーツジュースや紅茶などの商品を試飲させてもらいました

「てにとる」
「ゾーン」には同社が製造する飲み物が並んでいます。子どもたちは商品を見て「スーパーで見たことある」と気づきました。実は同社は別の会社で作りたい飲み物を一緒に開発することも得意です。他社の商品として販売されている飲み物も、裏側の表示をよく見ると「製造」のところにハルナグループの名前があります。地元で作られた飲み物があるところまで販売されていることが分かりました。

(文) 大森未穂菜、写真 越谷奈都美



同社は商品の研究開発や製造過程について学べる「ハルナインベシジョンセンター」という施設を、昨年12月にオープンしました。今回は地元の小学2年・中学1年の7人が訪れました。

見学スペースは四つのゾーンに分かれています。会社の歴史をまとめた映像を見た後、「かんがえるゾーン」でオリジナルのペットボトルラベルを作ります。森田義羽さん(9)は「ジュースの色とラベルの色が合うかバランスを考えながら作りました」とうれしそうです。

MILK COMMUNICATION

第46回 牛乳絵画・第39回 牛乳はり絵

大募集

作品 コンクール



あなたが
出合ったことのある
牛乳にまつわる出来事を
なんでも自由に
表現してください!

第39回
牛乳はり絵
最優秀賞

第38回牛乳はり絵作品コンクール最優秀賞・絵事賞

「夏祭り」

高崎市立片岡中学校 3年

上山 紀菜莉さん、大河原 里音さん、乗附 蒼乃さん

第45回
牛乳絵画
最優秀賞

第45回牛乳絵画作品コンクール

最優秀賞・絵事賞

「いのちにありがとう」

前橋市立第一中学校 2年 高橋 莉久斗さん

このコンクールは、健康であることの尊さと栄養価の高い牛乳の大切さを再認識し、作品の製作を通じて、創作意欲の増進と豊かな心を育み、牛乳や乳製品に関する知識を向上させるものです。

健康に欠かすことのできない「牛乳」をテーマに、生活を通して得た経験を一枚の画用紙におもしろい表現してください。

★詳しくは…
https://www2.jomo-news.co.jp/jyo/milk/
「牛乳絵画・牛乳はり絵作品コンクール」をご覧ください。



おいしい飲料できるまで

飲み物の原料や製造過程について説明を聞く子どもたち

工夫や苦労
たくさん

同社は1996年に創業しました。たくさんのお客さまがあり、首都圏から近

お出かけした時や運動をした時などさまざまな場面で飲むペットボトルや紙パック飲料。製造するハルナグループ(高崎市)の商品には、おいしく飲んでもらうための、たくさんの工夫が見られました。(文 大森末穂菜、写真 越谷奈都美)



「つくろい」では製造過程を解説しています。まずはミネラルウォーターの作り方です。地下からくみ上げた水を何層ものフィルターに通し、水の中の汚れや菌を取り除きます。加熱しないので水の栄養を壊さずにまろやかでおいしい水になるそうです。

お茶やジュースなどは、原料となる茶葉やフルーツを世界中から集めて作られます。製品をボトルに詰めたら最後にラベルを貼って出荷されます。

見学を終えた中嶋円さん(10)は「当たり前だけど、飲み物を飲んでいただけで、飲む人が満足できるようにたくさん苦勞して作られていることが分かりました」と話していました。

▶タッチパネルを操作して好きな文字やスタンプを打ち込みます



①デザインしたラベルが機械から出てきます
②出来上がったラベルがボトルに貼って完成

ラベル作りができるタッチパネルに触れると最初に「誰のため？」と問いかけられます。

多くのことを考える必要

まずどんな場面で飲むかを考えるのです。

味が決まったら「運動後に飲むから500

オリジナルのラベル作りを通して、商品開発の仕事をしただけ体験してみよう。

「スポーツをしてる人」「お家でゆっくり過ごす人」などもパターンから選びま

す。「スポーツをしてる人」「お家でゆっくり過ごす人」などもパターンから選びま

オリジナルのラベル作り体験



自分で作ったペットボトルラベルを自慢する子どもたち

どんな仕事?

開発担当 渡辺杏子さんに聞く

「飲んだ感想を聞いた時にやりがいを感じる」と話す開発担当の渡辺さん



飲み物の開発を担当する渡辺杏子さん(30)に仕事のことを教えてもらいました。

要望を聞いて新しい商品に

商品開発は「飲んでおいしかったと感じてもらえる飲み物は何か」ということを考えて商品を作る仕事です。新しい商品を作りたいと考えている会社から、「旬のフルーツを使いたい」「とにかく安いものを」などの要望を聞いて、それを実現できるように工夫します。

原料を作る人、デザインを考える人、商品を選ぶ人など、一つの商品に多くの人関わっています。ラベルの表現など細かい所まで何度も話し合

って良い商品作りを目指します。私の夢は新しいジャンルの飲み物を開発することです。緑茶やコーヒーみたいに、いつか私が作った飲み物が定番ジャンルになったらいいです。

見学してみよう▶ 毎週金曜開館 予約して

ハルナイノベーションセンター(高崎市足門町)の1階にある見学スペースは毎週金曜日に開館。予

約すれば誰でも見学できます。予約や詳細はホームページ＝QRコード＝から。

